

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878  
あぞの事務所: 846-2046 県議会 823-9524  
自宅: 中久万 携帯: 090-1172-1599

給付金のバラマキではなく、安定・安心の子育て制度へ改善を！

## 鴨田保育園に学ぶ、保育士「配置基準」改善の必要性

現実には国の基準や支援規模があまりにも貧弱で実態に合わず、結果として、園が保育士を増やす為に給与を下げるしかない状況になっています。一部配置基準が緩和されてはきましたが、4・5歳は特に国基準ができた1948年以来75年間、一度も変わっていません。

**すべての子どもに届く支援へ**

本来、国は異次元の子育て支援と言うならば、お金をばらまくのではなく、保育の重要性を再認識し、「質」に関わる配置基準の改善を早急に進めるべきではないでしょうか。

年齢	鴨田	国
0歳	3:1	3:1
1歳低月齢	5:1	6:1
1歳高月齢	6:1	6:1
2歳	6:1	6:1
3歳	11:1	20:1
4・5歳	20:1	30:1

鴨田保育園は1歳、3歳、4・5歳で保育士配置基準を国以上に改善し子ども達の成長過程を大事にする努力、保育運営をしています。

なぜ、手厚い配置ができたのか。

園長先生は「給与を下げる事も、苦渋の選択を話します」。

現場の努力はもう限界！

「給与下げるしかない」：現実

県議会・総務委員会の視察で高知市の鴨田保育園を訪ねました。園長先生は「一人ひとりが認められ遊びや生活を通じて情緒の安定を図り、心身の健康の基礎を培うことが大事、主体的で対話的で深い学びの中で生きる力を育てることを園として目標にしている」と話します。

保育期、成長の始まり「丁寧さが重要」

## おたまじゃくし

大空にたなびく、七色の虹レインボーブリッジ。

高知市は日の丸と市旗しか正面玄関に建てなかったが、最近 LGBTQ の尊厳を示す旗を掲げた。多様性を尊重する旗が風に吹かれ、新しい時代への動きを感じる。

市民の声为社会や政治を動かす、最近では同性婚を認めないのは憲法違反だと裁判所も判決を下した。

一方、日本を除く G7 国は同性婚を認めているが日本は認めない、どこまで世界と乖離していくのか。

自分と違う意見や価値観、文化は当たり前にあるもの世界は広い！個人の尊厳に共感できる、よりいい時代へ進みたい。

校則見直しも多様性を認める社会への一歩だと思う。ゴムの形、髪型、下着の色まで指定され従わされる今、学校内外で声を上げ始めた学生達の姿が頼もしい。

学校にも変化が生まれている、母校・岡豊高校は5月26日に「制服指導時の不適切な確認方法をお詫びする」文書を出した。一人ずつ立たせ制服をまくらせ点検していた。目視でのチェックに改善というが校則の中身も問いたい、理不尽なことはないのだろうか。

## 講演会 これからの校則について

高知国際高校・2年生 校則見直し訴える

「自分で判断できる自分になりたい」

なぜ、「髪ゴム」「シュシュ」がダメ？

5月、山本宏樹・大東文化大教授による「校則」のシンポジウムがありました。実態報告では高校生たちが報告しました。工業高校では校則見直しを求める声が多く、昨年は生徒会で頭髪について討議「ツーブロックや長いのも許可して欲しい」との声を伝えたが先生からは「これから就職がある、いつ企業面接してもいいように」と言われたとの事です。

また、国際高校では「シュシュ」がダメと9回先生に呼び出し注意を受けた。わがまま、学校のイメージを悪くしている」と、先生から指摘されたと言います。

## 無料 生活・法律相談会

6月18日 午前10時~12時

新屋敷事務所 皿田幸憲・弁護士

毎月・第3日曜日 開催中！